【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年9月14日(2023.9.14)

【国際公開番号】WO2022/138877
【出願番号】特願2022-571656(P2022-571656)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/00(2006.01)
Ｇ１６Ｈ 30/40(2018.01)
Ｇ１６Ｈ 10/60(2018.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/00　３６０Ｚ
Ａ６１Ｂ　6/00　３３０Ｚ
Ａ６１Ｂ　6/00　３２０Ｚ
Ｇ１６Ｈ 30/40
Ｇ１６Ｈ 10/60

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月20日(2023.6.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項９】
ユーザによって携帯可能である画像診断支援装置の作動方法であって、
プロセッサが、
医用画像に対するコンピュータ支援診断処理と、
外部装置から前記医用画像と付帯情報とを含む画像ファイルを受信し、前記コンピュータ支援診断処理の結果を含む情報を前記外部装置に送信する通信処理と、
前記コンピュータ支援診断処理に不要な個人情報が前記付帯情報に含まれる前記画像ファイルの送信を禁止する指示を、前記外部装置に対して送信する禁止指示送信処理と、
を実行する画像診断支援装置の作動方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１０】
プロセッサ及びメモリを有し、かつユーザによって携帯可能である画像診断支援装置において、前記プロセッサに処理を実行させるプログラムであって、
医用画像に対するコンピュータ支援診断処理と、
外部装置から前記医用画像と付帯情報とを含む画像ファイルを受信し、前記コンピュータ支援診断処理の結果を含む情報を前記外部装置に送信する通信処理と、
前記コンピュータ支援診断処理に不要な個人情報が前記付帯情報に含まれる前記画像ファイルの送信を禁止する指示を、前記外部装置に対して送信する禁止指示送信処理と、
を前記プロセッサに実行させるプログラム。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本開示の画像診断支援装置の作動方法は、ユーザによって携帯可能である画像診断支援装置の作動方法であって、プロセッサが、医用画像に対するコンピュータ支援診断処理と、外部装置から医用画像と付帯情報とを含む画像ファイルを受信し、コンピュータ支援診断処理の結果を含む情報を外部装置に送信する通信処理と、コンピュータ支援診断処理に不要な個人情報が付帯情報に含まれる画像ファイルの送信を禁止する指示を、外部装置に対して送信する禁止指示送信処理とを実行する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
本開示のプログラムは、プロセッサ及びメモリを有し、かつユーザによって携帯可能である画像診断支援装置において、プロセッサに処理を実行させるプログラムであって、医用画像に対するコンピュータ支援診断処理と、外部装置から医用画像と付帯情報とを含む画像ファイルを受信し、コンピュータ支援診断処理の結果を含む情報を外部装置に送信する通信処理と、コンピュータ支援診断処理に不要な個人情報が付帯情報に含まれる画像ファイルの送信を禁止する指示を、外部装置に対して送信する禁止指示送信処理とをプロセッサに実行させる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８０】
この後、コンソール制御部３８は、画像診断支援装置４０から、処理済みＸ線画像ＸＰＣ（図６参照）をＣＡＤ処理結果として受信し（ステップＳ３８）、受信した処理済みＸ線画像ＸＰＣをコンソール画面１００に表示させる（ステップＳ３９）。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８３】
以上のように、Ｘ線撮影システム２は、ユーザにより携帯可能であって、モバイルバッテリ８０により給電が可能な画像診断支援装置４０を備えるので、災害医療又は在宅医療などの現場で画像診断支援を行うことができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９７】
コンソール３０では、コンソール制御部３８は、画像診断支援装置４０から、処理済みＸ線画像ＸＰＣ（図６参照）をＣＡＤ処理結果として受信し（ステップＳ６８）、受信した処理済みＸ線画像ＸＰＣをコンソール画面１００に表示させる（ステップＳ６９）。